

奈良市長 仲川げん 様

平城西中学校校舎の早期リノベーションの実施と

神功小学校の仮移転の要望書

日頃は、奈良市における子どもたちの健やかな成長と教育の充実の為ご尽力賜り御礼申し上げます。

当地区の子ども達が日々通う神功小学校の老朽化が著しく、教室、廊下、階段、調理室、体育館など至るところで雨漏りがするようになっていきます。教室は3階建て校舎の3階部分のみならず2階の教室まで雨漏りがするようになっていきます。これはかなり重症と言わざるを得ません。また、小規模化も一層進行しているところです。

そのようなことから、当連合会では神功小学校 PTA と連名で、本年7月11日付で「平城西中学校区における学校規模適正化計画を推進し、新しい施設一体型小中一貫校を早期に開校されることを求める要望書」を提出しているところです。

先日、教育政策課の皆様とお会いし、市長の命を受けて学校規模適正化を推進するためのチームを立ち上げられたとお聞きしました。また、平城西中学校区の規模適正化についてはゴールを出来るだけ手前にもってくるよう検討しているとの言葉もいただき、前記要望書内容の実現に動き出されたことを感じ取ることが出来大変喜んでいところではあります。

しかしながら、そのような努力をしていただいても新しい学校の開校は2年半あるいは3年先になるようにお聞きしております。

その間、神功の子どもたちをそのような劣悪な環境に置いておくことは、保護者のみならず多くの地元住民も耐えられません。このような状態は、平成27年10月に定められた「奈良市教育大綱」に照らしても許容されるものではないと考えております。

幸いにして、隣接する平城西中学校では教室が沢山空いていると聞き及んでおります。したがって、神功小学校の一部機能を次年度からでも平城西中学校に仮に移転することが可能であると考えます。

夏の暑さは年々厳しさを増しており、奈良市におかれても来夏までに小中学校に空調設備を設置される予定と聞き及んでおります。教室の空調設備というところかなり大規模なものとなり、老朽化した建物の場合相当の補強工事が必要と思われれます。そうだとすると、近く取り壊し予定の小学校の建物に資金を投ずるよりは、中学校校舎のリノベーションを空調設置に合わせて早期に実施されるのが財政政策的にも適切であろうと考えております。

よって、平城西中学校校舎の早期リノベーションの実施と神功小学校の一部機能の同中学校への仮移転をお願いするものです。

2018（平成30）年11月7日

神功地区自治連合会



神功小学校 PTA

